

## 水中におけるフルオキサストロビン分析法

### (1) 装置

紫外分光光度型検出器付き高速液体クロマトグラフを用いる。

### (2) 試薬試液

蒸留水：純水製造装置で脱イオン化したもの又はこれと同等のもの

リン酸：試薬特級

アセトニトリル：高速液体クロマトグラフ用またはこれと同等のもの

フルオキサストロビン標準品

### (3) 試験溶液の調製

リン酸を用いて試験溶液を pH 3 に調整し試験溶液とし、直接高速液体クロマトグラフに注入する。

### (4) 高速液体クロマトグラフ操作条件

カラム：シリカゲルにオクタデシルシランを化学的に結合させたものを内径 2~6 mm、長さ 10~15cm のステンレス管に充てんしたもの又はこれと同等の分離性能を有するものを用いる。

カラム槽温度：温度 40℃

溶離液：アセトニトリル及び蒸留水の混液 (20:80~80:20) を用い、フルオキサストロビンが 10~15 分で流出するように流速を調整する。

検出器：波長 255nm で測定する。

感度：フルオキサストロビンの 0.5 ng が十分確認できるように感度を調整する。

### (5) 検量線の作成

フルオキサストロビン標準品より 500 mg/L のアセトニトリル溶液を調整し、標準溶液原液とする。原液を蒸留水で希釈しリン酸を用いて供試水を pH 3 に調整し、2.00~12,380 µg/L の溶液を調製し、それぞれ 250 µL ずつ直接高速液体クロマトグラフに注入し、ピーク面積を測定し検量線を作成する。

### (6) 定量試験

試験溶液の 250 µL を高速液体クロマトグラフに注入し、(5)の検量線によりフルオキサストロビンの重量を求め、これに基づき、試料中のフルオキサストロビン濃度を算出する。